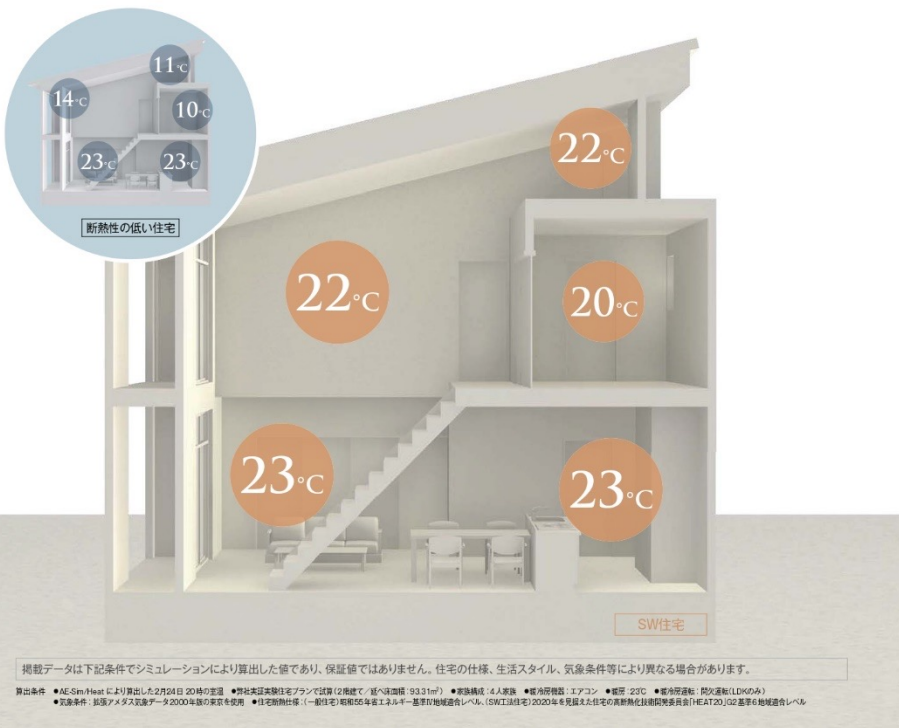


Thermal insulation properties -断熱性-

硬質ウレタンフォーム

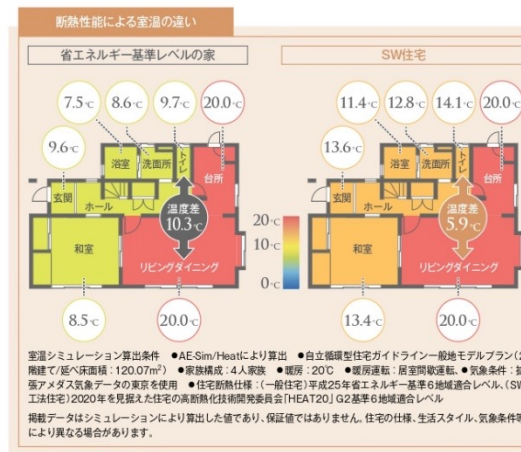
魔法瓶のような高い断熱性で
家の中の温度差が少ない暮らし。

冬のリビング、エアコンで快適な室内も、廊下やトイレは寒く感じるのではないのでしょうか。この温度差は、暮らしの快適性を損ねるだけでなく、ご家族の健康にも影響を及ぼします。そんな、家の中の温度差を少なくするには、住まいの気密・断熱性を高めることが大切なのです。



住まいの断熱性能を高めると
家の中での温度差が少なくなります。

建物全体の断熱性能を高めると、家の中の部屋ごとの温度差が少なくなります。省エネルギー基準レベルの家とスーパーウォールの家を比較してみると、リビングとトイレの温度差が10.3°Cから5.9°Cに、リビングと脱衣室(洗面所)の温度差は11.4°Cから7.2°Cへ改善。暖かなリビングから廊下や玄関へ出たときの不快なヒンヤリ感が軽減され、また、浴室やトイレにおけるヒートショックのリスク軽減にもつながります。



脱衣室やトイレとの温度差が少なく
ヒートショック防止にも役立ちます。

交通事故は年々減少傾向にある中で、家庭内の死亡事故は増加傾向にあり、特に寒い時期の入浴中の死亡事故が多く発生しています。その主な原因は、入浴時の急激な温度変化によって、血圧や脈拍が変動する「ヒートショック」が起こり、心筋梗塞や脳出血、脳梗塞などを引き起こしたものと考えられています。断熱性の高い家は、冬でも居室と脱衣室やトイレとの温度差が少ないため、突然死のリスクと言えるヒートショックの防止にも役立ち、家中暖かな住まいが、ご家族の健康をしっかりと守ります。

脱衣室やトイレとの少ない温度差は、リビングなどの居室において、適切な暖房運転を行った場合です。

